

TOKYO SEITOKU

January.2026

NOW

vol.
59

東京成徳学園の“今”を発信する広報誌

100th
TOKYO SEITOKU
Since 1926



特集

学園創立100周年突入記念
あの頃、あの場所を巡る —

PICK UP!

東京成徳学園創立100周年特設サイト

TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2025

学園祭 REPORT

1926 → 2026



つながる学び、ひろがる未来。

学校法人 東京成徳学園

TOKYO SEITOKU



創立100周年を迎えて



東京成徳学園 理事長
木内 秀樹

各位の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

学園は、1926年の創立以来、建学の精神である「成徳」のもと徳知体の調和を重んじる教育を実践してまいりました。そして、時代の変化とともに教育の在り方も大きく変容する中、私たちは常に「人間力の育成」を根幹に据え、未来を担う若者たちの成長を支えてきたところです。

100年という歴史は、過去の歩みを振り返るとともに、次の100年への新たな一歩を踏み出す契機でもあります。これからの時代においても、東京成徳学園は「人を育てる」使命を胸に、教育の質をさらに高め、社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。

今後とも、皆さまの変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

本学園は、本年創立100周年という大きな節目を迎えることとなりました。これもひとえに、長きにわたり本学園を支えてくださった卒業生・保護者の皆さま、地域の皆さま、そして教職員をはじめとする関係

1. 学園ビジョンについて

創立90周年の折、「東京成徳ビジョン100」を策定し、100周年に向け各所属校の目標と重点施策を明らかにしました。これは不易である「建学の理念」に、流行の「グローバル」という視点を加えて、学園の進むべき方向を新たに明確にした指針となりました。そして100周年を迎えるにあたり、新しい教育ビジョンと経営戦略の策定に取りかかっているところです。

本学園が目指すのは、一人ひとりが挑戦を通じて成長すると同時に、その挑戦や成長が周囲にも波及し相互に高め合うコミュニティを形作ることです。その際、成果や競争のみを追求するのではなく、他者との協働、責任ある行動、長期的な信頼の形成が不可欠。また、「徳」は生徒や学生に対する教育内容としてのみならず、教職員のリーダーシップ、組織文化、ガバナンスの在りにも関わる概念です。

最終的には、本学園が「徳ある挑戦者」を社会に送り出すことを存在意義とすることにつながります。

2. 「成徳」についての考察

一般的には、「徳」は人間としての優れた性質や品格を指します。誠実さ、思いやり、正義感、謙虚さなど、社会的・倫理的に望ましい行動や心の在り方が「徳」とされます。徳に関する歴史的な名言は東西を問わず数多



[左]東京成徳大学開学当初の航空写真(千葉県八千代市)
 [右上]1960年代の中高(中高一貫部)の航空写真
 [右下]1960年代の高校(高等部)の航空写真

くあります。

例えば、中国の孔子は『論語』の中で「徳は孤ならず、必ず隣あり」と、徳のある人は孤立せず、必ず理解者や仲間が現れると述べています。また古代ギリシアの哲学者アリストテレスは、『ニコマコス倫理学』の中で、「徳とは習慣によって得られるものである」と述べ、徳は生まれつきではなく、日々の行動と習慣によって身に付くものだと述べています。これは、江戸時代の陽明学者である中江藤樹の言葉とも一致します。彼は「大善は名声をなし小善は徳をなす」と、日頃からの好ましい行動を心がけることが大切だと述べているのです。

つまり、観念やスローガンだけでは意味がなく、内面で大切にしている価値を日常の小さな選択やふるまいにおいて、一貫して表現している状態こそが重要だということです。徳は一時的な善行やキャンペーン的な取り組みではなく、長期にわたる習慣の蓄積によって形作られる「生き方そのもの」です。意識的な努力の時期を経ながらも、やがては「その人らしさ」として自然ににじみ出る人格となることが、本学園における「徳」の理想像といえます。

そして、自らの成長だけを追求するのではなく、「自分の幸福」と「他者の幸福」を同時に実現していく生き方こそ、これからのグローバル時代において求められているものではないでしょうか。

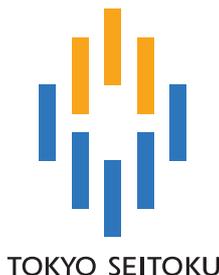
TOKYO SEITOKU

NOW

「TOKYO SEITOKU NOW」は
 1年に2回、東京成徳学園の情報を
 お届けする総合広報誌です。

- 01 巻頭言
- 03 特集 学園創立100周年突入記念
 - 03 あの頃、あの場所を巡る —
 - 07 PICK UP!
東京成徳学園創立100周年特設サイト
- 09 TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2025
学園祭REPORT
- 13 TOPICS
 - 13 国際学部／子ども学部／経営学部
 - 14 応用心理学部／大学院
 - 15 短期大学／中学・高等学校
 - 16 深谷中学・高等学校／幼稚園
- 17 ひと『活躍する卒業生』
東京都北区ジェイトエル 統括責任者代理
北とぴあ演劇祭 実行委員長
菅野 勇作さん
- 19 クラブ活動報告
- 20 Student's Voice
- 21 学園の動き／NEWS
- 22 先生に聞く。
学園創立100周年記念事業
ブランド・ステートメント
- 23 お問い合わせ先
学園後援会のご案内
読者アンケートのお願い

学園のシンボル・マーク



イエローは「活力」と「勇気」を表し、3本の柱は学生・生徒・園児、教職員、同窓生を象徴しています。ブルーは「理想」と「若さ」を表し、5本の柱は5つの教育目標を象徴しています。そして、8本の柱が一体となり、東京成徳学園とその学園に集う人々のヒューマニティーを作り上げる姿を表現しています。

特集

学園創立100周年突入記念

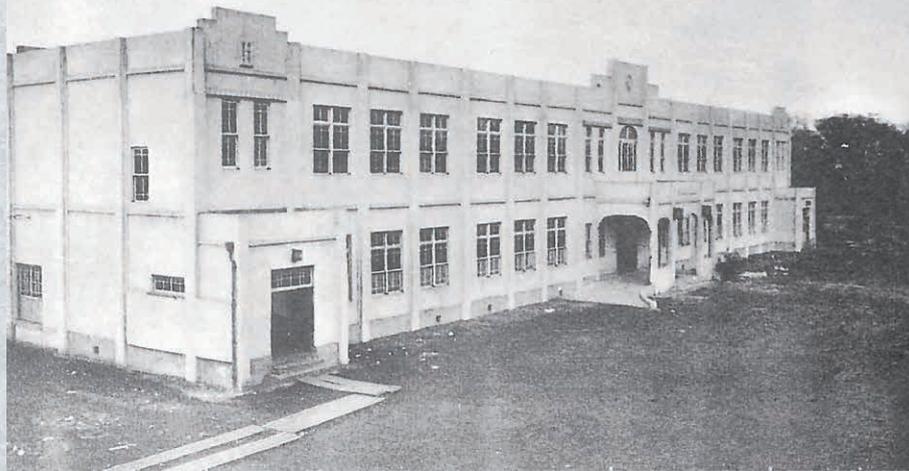


あの頃、あの場所を巡る

TOKYO SEITOKU 1926-2026

学校法人東京成徳学園は、
 2026年に創立100周年を迎えました。
 今号では100周年突入を記念して、
 1926年の創立から紡がれてきた
 学園の軌跡を、あの頃、あの場所の
 懐かしい写真とともにたどります。
 読者の皆さまがそれぞれの記憶をたどり、
 かつて学園で過ごした日々を思い返す
 きっかけとなれば幸いです。
 ぜひ過去・現在の写真を
 じっくりと見比べてお楽しみください。

学園創立初期の校舎
 (現在の中高一貫部敷地内)



Past
1927
 学園創立初期

{ 東京成徳大学中学・高等学校 }
 { 中高一貫部 }
 Since 1926



1965年に大時計のある
 創立40周年記念館が完成

現在の中高一貫部



Present
2026

現在の中高一貫部校舎は、1997(平成9)年に完成し、翌年に落成式を行う。この校舎は、2003(平成15)年に第1回北区景観賞を受賞。1998(平成10)年に、中学が男女共学化。中高一貫部では、2000(平成12)年の中学入学生より現在と同じく完全中高一貫教育がスタート。

中高一貫という特性を生かし、グローバル時代を生きる生徒の育成に向け、中学3年時のニュージーランド学期留学の推進やネイティブ教員によるオールイングリッシュの授業を展開。また「Apple Distinguished School(ADS)」認定校となり、積極的にICTを活用した教育を行うなど、先進的な教育に努めている。

{ 東京成徳大学高等学校 } { 高等部 } Since 1926

右の写真の校舎は1981(昭和56)年に創立60周年記念館として建築された。校舎前に植樹された樹々は、特徴的なプラネタリウムの丸いドーム屋根を隠してしまうほど、大きく育っている。



Past
1971
1971年頃の
高等部旧校舎と
グラウンド

高等部では、2003(平成15)年に男女共学化。共学1期生の卒業時は男子比率はまだ低く、女子校時代の進学や学習傾向が色濃く残っていたため、カリキュラム整理、コース再編を行い、特別進学・進学選抜・進学の3コース体制に移行。2014(平成26)年には、新たにSクラスが設置され、より高いレベルの学習指導が可能となった。

Past
1982

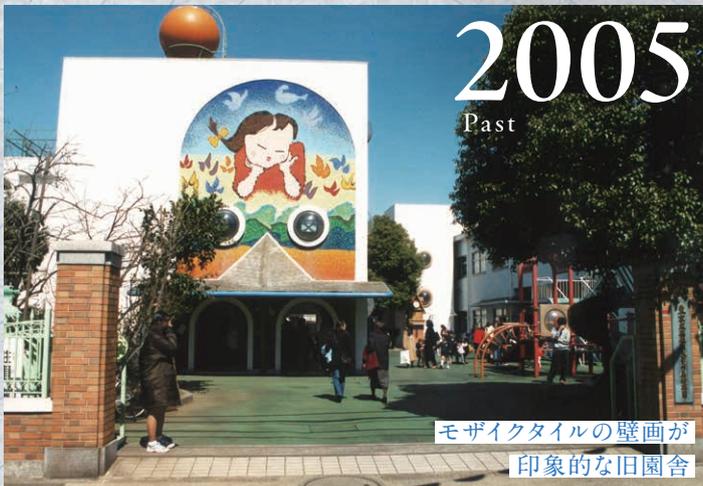
創立60周年記念館として
建築された高等部校舎



現在の高等部



Present
2026



Past
2005

モザイクタイルの壁画が
印象的な旧園舎

{ 成徳幼稚園 } Since 1953

1953(昭和28)年に東京成徳幼稚園を新設し、園長に木内四郎兵衛が就任。1975(昭和50)年の学園創立50周年記念事業にて、モザイクタイルで描かれた壁画が印象的な旧園舎が完成した。



Past
1974
1974年頃の
旧園舎



Present
2026

現在の成徳幼稚園

長年愛されてきた旧園舎は、現在の園舎建築計画が着手された2020(令和2)年より段階的に解体。その後、園庭整備まで含めた工事は2022(令和4)年に完了となった。

学び・遊びの風景がつながる空間、健康的な保育環境、園児の感性を育む内装の3つのコンセプトのもとに建築。明るい園舎内で、子どもたちは毎日楽しく、元気に過ごしている。

Past

1963

深谷高等学校 開校初期の校舎



現在の深谷中学・高等学校



Present

2026

{ 東京成徳大学深谷中学・高等学校 }

Since 1963

1963(昭和38)年に、東京成徳学園深谷高等学校として開校。左の写真の開校時の東側校舎に加え、1965(昭和40)年に西側校舎と体育館が完成した。



Past

1965

開校初期(第3期工事竣工頃)の校舎

1994(平成6)年にコース制を導入し、1996(平成8)年には男女共学化。そして、高校創立50周年でもあった2013(平成25)年に中学校を開校。中高ともに、未来を見据えた特色ある教育を展開し、ICT活用や探究活動、グローバル教育など、これからの時代に求められる新たな教育の充実を目指している。

{ 東京成徳短期大学 }

Since 1965

1965(昭和40)年に東京成徳短期大学が開学。1年目の設置学科は文科のみ。2年目の1966(昭和41)年に文科を国文専攻と英文専攻に分け、中学校教諭二種免許状(国語・英語)取得の課程認定を受ける。また、同年幼児教育科を設置し、幼稚園教諭二種免許状の課程認定を受ける。1976(昭和51)年に、学園創立50周年記念事業として、レンガ壁面が印象的であった校舎が完成した。

Past

1976

創立50周年記念事業で
建築された短大校舎



写真の校舎跡地には、現在6号館が建つ。短大正門前に植樹された木は、当時とは比べ物にならないほど大きく伸びている。

2025(令和7)年に開学60周年を迎え、現在は幼児教育科1学科となり、2年間で幼稚園教諭二種免許状と保育士資格をはじめとする子どもに関わるさまざまな資格・免許を取得できる、厳選した教育内容を計画的に配置。子どもに寄り添い、感じ、考え、行動できる保育者の育成に寄与し続けている。

Past

1966

短期大学 開学初期の校舎



Present

2026

短期大学の旧正門



{ 東京成徳大学 }

Since 1993

1993(平成5)年、東京成徳大学を千葉県八千代市に開学。日本語・日本文化学科、英語・英米文化学科、福祉心理学科の3学科からなる人文学部を設置。当時は「共生とコミュニケーション」という教育理念のもと、幅広い教養と高度な専門力を習得することだけに尽きず、豊かな人間性を兼ね備えた学生、新しい価値観を持った感性豊かな人間、日本人としての自覚を持った国際人を育て、社会に送り出すことを掲げている。

Past
2022

キャンパス移転が完了し、全学部学科・研究科が集結



現在では、4学部5学科と大学院を擁する大学にまで発展。2022(令和4)年には八千代キャンパスからの移転が完了し、全学部学科・研究科が東京都北区に統合されている。2023(令和5)年に開学30周年を迎え、ますますの飛躍をするべく、教育・研究への取り組みを続けている。

王子キャンパス開設
当初の大学院

Past
2000



Present

2026

現在の大学院
東京キャンパス(十条)

{ 東京成徳大学大学院 }

Since 1998

大学の開学から5年後の1998(平成10)年に、東京成徳大学大学院が、大学と同じく千葉県八千代市に開設される。人文学部の福祉心理学科を基礎に「心理学研究科カウンセリング専攻」として修士課程を開設。定員はわずか6名と小さな大学院としてスタートした。定員規模は少ないながら、予想を上回る多くの受験生を獲得している。

2000(平成12)年の人文学部臨床心理学科の開設に伴い、大学院も臨床心理学を基礎とすることに改編、定員26名に増員し、場所も東京都北区王子に移転となり、新たなスタートを切る。2002(平成14)年に臨床心理士受験資格第1種指定校となり、2003(平成15)年の博士後期課程開設と続く。現在は、大学学部のキャンパス移転とともに、北区十条に場所を移し、心理支援の専門家を育成している。

学園創立100周年を迎える2026年に

東京成徳大学ホームカミングデイ(大学の4同窓会で共催)が開催予定! [東京成徳大学卒業生・在学生対象]

Check!

詳細は準備ができ次第、ホームページでお知らせします。

1993
Past

大学開学当初の千葉キャンパス(八千代)



現在の東京キャンパス(十条)



Present

2026

Check!

特設サイトは
こちらから



pick up!

東京成徳学園 創立100周年特設サイト

創立100周年という大きな節目にあたり、学園ではさまざまな100周年記念事業が展開されています。

計画・推進中の記念事業は「**創立100周年特設サイト**」で詳しく紹介しています。

ぜひ特設サイトをご覧ください、100周年祝賀への気運を高めていただければ幸いです。

ここでは、特設サイトに掲載中の周年記念事業や取り組みをご紹介します。

100周年記念事業

01

Logomark

100周年記念ロゴマーク

創立100周年を記念して、**100周年記念ロゴマーク**を制作しました。このロゴマークは、今までの100年からこれからの100年へと東京成徳学園がさらに大きく飛躍・飛翔していくイメージから着想を得て、羽ばたく鳥の翼をモチーフに、未来へ向かって羽ばたく学園の姿を表現しています。また、東京成徳のシンボル・カラーである青(TSブルー)と黄(TSイエロー)の2色を「00」で模した翼のモチーフに用いることで、東京成徳学園の推進力をより強く印象付けます。



Special project

02

特別企画

未来へつなぐ
メモリアル
フォトアート

創立100周年の特別企画として、在学生や卒業生、保護者の方、学校関係者の皆さまからの**メッセージと写真を募集**しています。お寄せいただいたメッセージ・写真は100周年特設サイトで公開され、写真は**フォトモザイクアート**として100周年を記念するさまざまな媒体で展開予定です。ぜひ友人や知人を誘って、思い出深い瞬間を共有しましょう！



詳細は
こちら

03

2023年8月



人工芝グラウンド
リニューアル

東京成徳大学高等学校
(高等部)

04

2023年9月



総合体育館
Fアリーナの改修

東京成徳大学
深谷中学・高等学校

05

2024年7月



第1・第5体育館に
空調機を設置

東京成徳大学高等学校
(高等部)

06

2026年11月



100周年記念
周年誌の制作

東京成徳学園

and more...

07

卒業生をつなぐ オンラインコミュニティ 東京成徳NETWORK

詳細はこちら



100周年記念事業の一環として、大学・短大・高校の卒業生同士や卒業生と教職員・在学生をつなぎ、それぞれが交流できる卒業生オンラインコミュニティ『東京成徳NETWORK(TS-network)』を開設しました。『オール東京成徳』としての連携と絆をさらに深め、東京成徳学園のプレゼンス強化と教育内容の充実に取り組むためにも、多くの卒業生からのご参加をお待ちしています。

TokyoSeitokuNetwork

Anniversary Celebration Message

08

お祝いの
メッセージ

100にまつわるエピソードとともに

創立100周年特設サイトでは、たくさんの学園関係者の皆さまから頂戴した「100周年のお祝いのメッセージ」と、「100にまつわるエピソード」を掲載しています。メッセージは随時追加していきますので、更新をお楽しみに！



詳細はこちら

ご寄付のお願い 創立100周年記念募金



詳細はこちら

学園創立100周年を迎えるにあたり、未来の教育と社会に貢献するさまざまな記念事業を計画しております。その一環として寄付募集活動を実施し、寄せられたご寄付は校舎校地等の修繕、学生・生徒・園児の学習環境の整備や活動支援など、さらなる教育環境の充実と一層の施設拡充のため有効に活用させていただきます。格別のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

詳細は決定後に順次ホームページに掲載してまいります。

○募集要項

名称	東京成徳学園創立100周年記念募金
目的	①教育研究の充実 ②施設・設備の充実 ③奨学金制度の充実 それぞれの詳細が決定次第、学園ホームページ上に掲載いたします。
目標金額	1億円
募集期間	2025年4月1日～2028年3月31日
募集金額	個人の皆さま：一口1万円以上／法人・団体の皆さま：一口10万円以上 上記金額以上をお願いしておりますが、口数や金額に関わらず ありがたくお受けいたします。

○寄付者の皆さまの顕彰

ご寄付賜りました方々のご芳名を学園内掲示の銘板に刻印させていただきます。(個人の方10万円以上、法人・団体の方50万円以上のご寄付を対象とさせていただきます。)

ご寄付賜りました方々全員のご芳名を学園ホームページ、広報誌等で芳名録として掲載させていただきます。※ご希望により刻印、掲載しないこともできます。



History

100周年までの歩み

詳細はこちら



創立100周年特設サイトでは、2026年の学園創立100周年までの沿革を詳しく紹介しています。現在の大学、大学院、短期大学、高等学校、中学校、幼稚園を有する総合学園にまで成長した東京成徳学園の100年間には、どのような出来事があったのか。ぜひ特設サイトにてご覧ください。

- 1926 王子高等女学校(4年制)を創立
- 1931 東京成徳高等女学校に改称
- 1941 財団法人東京成徳高等女学校を設立
- 1947 学制改革により東京成徳中学校(現東京成徳大学中学校)開校
- 1948 財団法人東京成徳学園に改称
学制改革により東京成徳高等学校(現東京成徳大学高等学校)開校
- 1951 財団法人東京成徳学園から
学校法人東京成徳学園に組織変更
- 1953 東京成徳幼稚園(現成徳幼稚園)開園
- 1963 東京成徳学園深谷高等学校(現東京成徳大学深谷高等学校)開校
- 1965 東京成徳短期大学開学
- 1976 東京成徳短期大学附属第二幼稚園開園
- 1993 東京成徳大学開学
- 1998 東京成徳大学大学院開設
- 2013 東京成徳大学深谷中学校開校
- 2015 東京成徳ビジョン100を策定・公表
- 2020 ブランド・ステートメント、タグラインを策定
- 2026 ↓ 学校法人東京成徳学園創立100周年

TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2025

学園祭 REPORT

2025年度の学園祭も、各校大いに盛り上がりました！
学生たちがさまざまな趣向を凝らした学園祭の模様をお伝えします。

東京成徳大学&東京成徳短期大学

第59回

桐友祭

今年のテーマは…

POWER OF SMILE

10月25日(土)・26日(日)、東京成徳大学・短期大学で第59回桐友祭が開催されました。今年のテーマは「POWER OF SMILE」。学生、来場者、地域の皆さまが笑顔でつながる学園祭を目指し、実行委員会を中心に5月から準備を重ねてきました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、キャンパス内は活気に満ち、食品販売や展示、体験ブースに多くの方が訪れました。楳の木ホールではダンスや演劇、音楽、ファッションショーなど個性豊かなステージが続き、観客を魅了しました。学生たちの「楽しんでもらいたい」という熱意が随所に感じられ、まさに青春の輝きがあふれる2日間となりました。ご来場いただいた皆さま、そして運営に尽力した学生の皆さん、本当にありがとうございました。来年の桐友祭もどうぞお楽しみに！



1. 青春のラストダンス🌟笑顔で駆け抜けた大学4年間！
2. 学びと遊びが融合！🎨笑顔あふれる体験コーナー
3. 音楽でつながる仲間たち🎵心に響くステージ
4. 甘辛トッポギが大人気🔥鉄板から幸せの香り
5. 黄色のバナナが目印🍌チョコバナナで幸せ気分🍌
6. 十条銀座の人気者キタキャン👽学園祭にサプライズ来校！

笑顔と美味しさが
たくさん詰まった
模擬店に注目👀



Tokyo Seitoku University & Tokyo Seitoku College

5



4



東京成徳大学
深谷高等学校

ホームcoming展
開催 思い出と
作品が勢ぞろい!



笑顔と元気で魅せる! ✨
ダンス部の全カステージ♡



4年間の想いを込めた
ハーモニーがホールに響く🎵



今年も轟音! ⚡
軽音楽部が主役だ! 全力LIVE🔥



迫力の生演奏🎸
軽音サークルファン必見のライブ!



🎮イカゲーム開幕!
タイムアタックに君はいき残れたか?



文化祭満喫中!
仲間と最高の
思い出づくり♥



こだわりのインテリア!
アメリカンダイナーで
特製チョコスを🍩



おそろいスタイルで🌸
楽しさも倍増🎉



「この色いいね!」
生徒のすてきな作品が並びました



アンブレラ・スカイ🌈
カラフルな傘の
アートに心躍る



脱出ゲームへようこそ!
今すぐ挑戦🎯
受付はこちらです📍



アナ雪の世界を再現🌸
華やかな衣装に注目!



スリル満点! 挑戦者求む🎮
ゲームで盛り上がり!!



グラウンドで部活体験!
サッカーやろうよ🏈



ブレスレットに想いを込めて
未来へ届ける支援活動📬





東京成徳大学高等学校(高等部)

桐蔭祭

9.27
SAT/SUN
9.28

今年のテーマは…

一瞬を、一生の思い出に。



9月27日(土)・28日(日)、東京成徳大学高等学校で「桐蔭祭」が開催されました。今年のテーマは「一瞬を、一生の思い出に。」校内は笑顔と熱気に包まれ、クラス企画や文化部の展示、迫力あるステージパフォーマンスが次々と披露されました。特に世界の味を楽しめる模擬店は大盛況!来場者と生徒が一体となり、まるでフェスのような盛り上がりを見せました。仲間と創り上げたこの2日間は、誰にとっても忘れられない時間となりました。



1. 音楽とダンスで、文化祭のテンションMAX! 🎵
2. 「無限の彼方へ」宇宙大冒険 🚀
飛行船で教室を駆け抜けろ 🚀
3. コーヒーカップのアトラクション ☕
乗る人は楽しい! 押す人は筋トレ 🏋️‍♀️
4. ステージ裏の緊張感 🎭 幕が上がれば、文化祭の物語がここから始まる…
5. 書道部全員の魂が宿る、迫力の大作がここに! 📜



9月27日(土)・28日(日)の2日間、中高一貫部の文化祭「桐蔭祭」が開催されました。今年のテーマは「童話～おとぎばなしのような不思議な世界～」。校内は童話の世界観を再現した装飾で彩られ、模擬店や展示、英語スピーチやプレゼンコンテストなど多彩な企画が並びました。吹奏楽部やダンス部、軽音楽部による迫力あるステージも大きな盛り上がりを見せ、来場者からは「来てよかった!」との声が多数。中高6学年が協力し、笑顔と熱気に包まれた2日間となりました。

1. 科学の魔法! 巨大な泡にみんなワクワク 🌬️
2. ミュージカルの名曲も! 迫力の歌声に拍手 🎵
3. 先生たちの神パフォーマンス 🎭
ゴールデンボンバーの人気曲で大盛り上がり!
4. 生徒会企画! グラウンドで部活体験フェス開催 🏆

Tokyo Seitoku University Junior & Senior High School



今年のテーマは…

童話～おとぎばなしのような不思議な世界

東京成徳大学中学・高等学校(中高一貫部)

令和7年度

桐蔭祭

9.27
SAT/SUN
9.28





Tokyo Seitoku University Fukaya Junior High School

東京成徳大学深谷高等学校
第61回

桐蔭祭

9.13
SAT/SUN
9.14

今年のテーマは…

熱中 夢中 青春中!!!



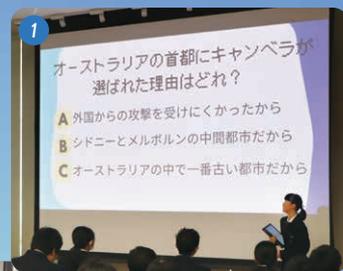
9月13日(土)・14日(日)、東京成徳大学深谷高等学校で第61回桐蔭祭を開催しました。今年のテーマは「熱中 夢中 青春中!!!」。生徒たちは夏休み前から準備を重ね、クラス企画や部活動、有志団体の発表で校内は笑顔と熱気に包まれました。2日間で3,000名に迫る2,850名の来場者をお迎えすることができ、参加した全員が一体となって楽しんだ文化祭となりました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。



Tokyo Seitoku University Fukaya High School



1. ディズニーの名曲も♪心弾むオータムコンサート🌟
2. 3種目のゲームに挑戦! 高得点で景品を手に入れよう🎮
3. ご主人様、どうぞ召し上げ!
笑顔と美味しいポテトが最高です🍟
4. 文化祭の締めくり、閉会式での受賞の瞬間をパシャリ📷



東京成徳大学深谷中学校
第13回

桐蔭祭

11.15
SAT

11月15日(土)、本校集会室で第13回桐蔭祭が開催されました。当日は各学年によるプレゼン発表と合唱発表が行われ、中学1年生は「自分の興味」をテーマにしたスライド発表、2年生はオーストラリア修学旅行を劇とクイズで紹介しました。また、3年生は中学生生活を振り返る動画を制作し、感動を届けました。続く合唱発表でも各学年が心を込めて歌声を披露。保護者の皆さまに、生徒たちの成長した姿をご覧いただけました。準備と練習の成果が光った、とても充実した文化祭でした。

1. これまでの学びを文化祭で発表!
生徒たちのプレゼン力が光る🌟
2. 友達の力作に思わず足を止めて…🎨
芸術の秋を満喫しました🍂
3. 文化祭で響くみんなの歌声!
心を込めたハーモニー🎵



東京成徳大学 国際学部

1年生がオーストラリア、韓国での海外留学に出発

2025年4月に入学した国際学科の1年生の44名は前期の学修カリキュラムを無事に終え、8月から9月にオーストラリアおよび韓国の各留学先に出発しました。今回は米国留学希望者がいませんでしたので、留学先の内訳は、オーストラリアDeakin University7名、Victoria University8名、韓国の慶熙大学10名、建国大学11名、漢陽大学8名となりました。学生たちは語学力を向上させるだけでなく、各留学先での現地学生、留学生、ホストファミリーなどさまざまな人々との触れ合いを通じて多くのことを学び、成長することを期待しています。

国際学部長 芳賀 克彦



東京成徳大学 子ども学部

海外インターンシップ生と芸術に関わる遊びを通じて交流



2025年6月に本学グローバル教育センターがインターンシップ生として受け入れていたアメリカのカリフォルニア大学、ミシガン大学などの学生との交流機会を得て、子ども学部生が遊びを通じておもてなしました。本学学生は「サウンドクラフトA」「子どもの芸術文化A」の授業で、芸術に関わる子どもの遊びや学びについて国内外の創造的な教育事例を学んでいます。今回は授業での学びや体験をもとに「光や空気を素材に作る遊び」をプロデュースし、インターンシップ生たちに楽しんでもらいました。学生にとって言葉に頼らず、遊びを通じて互いを伝え合う貴重な経験となりました。

子ども学部准教授 藤田 寿伸

東京成徳大学 経営学部

キャリアデザイン授業で就職イベントに参加

経営学部では、学生がスムーズに社会に出て活躍するため、在学中にビジネス・スキルを高める実践的な教育を行っています。2025年10月18日(土)には、「キャリアデザインⅣ(3年生対象:必修科目)」の授業の一環として、約120名の学生が「キャリア就活フォーラム(於ベルサール渋谷ガーデン)」に参加しました。経営学部での学びで培った力が企業にどのように評価されるか、力試しの機会となりました。このような機会提供が、学生の大きな飛躍に結び付くことを期待しています。経営学部の実践的な学びには、企業訪問、ビジネス実習、ビジネスアイデア・コンテストなどもあります。

副学長・経営学部長 村山 純



応用心理学部

東京成徳大学

臨床心理学科

学園祭にゼミ学生が出展

学園祭(第59回桐友祭、10/25～26)に今年も塚田ゼミの学生が出展しました。あいにくの雨でしたが、今回は3年生に加えて4年生も卒業研究のポスター発表を行いました。学科紹介では、授業紹介や実験体験、箱庭療法の砂箱とアイテムの展示、等身大の教員写真展示、占いを行いました。各教員のビックリマン風の紹介シールも作成して展示し、チョコバナナ販売時におまけとして配布しました。これは先生方の写真をもとにAI(人工知能)がさまざまな表情のアニメ風似顔絵を作り出したもので、大変好評でした。高校生、在学生や保護者、子ども連れなど多くの方に来場いただきました。

応用心理学部長・臨床心理学科長 一谷 幸男



応用心理学部

東京成徳大学

健康・スポーツ心理学科



健康・スポーツ心理学科4年生が
2024年にアメリカ留学した際の写真
(学生からの提供写真)

留学で広がる可能性～健スポ女子の挑戦～

健康・スポーツ心理学科の女子学生5名が、2026年3月から約半年間、アメリカと韓国の大学への留学に挑戦します。アンケート調査を通じて彼女たちの留学への思いを聞いたところ、「語学力を高めたい」「海外の文化や価値観に触れてみたい」「日常生活や一人暮らしの経験を積みたい」「自分の力を試したい」など、多様な目標や興味、前向きな声が集まりました。「不安もあるけれど、チャレンジしたい」「しっかり準備してやり切りたい」と意気込みも十分です。成長を目指し、世界に羽ばたく彼女たちの大きな飛躍にご期待ください。

健康・スポーツ心理学科長 出雲 輝彦

東京成徳大学大学院

心理学研究科

初めてのOBOGホームカミングデイの開催

10月26日、心理学研究科では同窓会・キャリア支援課と共同で、OBOGと現役生が交流する第1回ホームカミングイベントを開催しました。1部の同窓会総会に続いて、2部では前心理学研究科教授の田村節子先生に「子どもの心の“わからなさ”」という演題で講演いただきました。多目的ホールを会場に、約50名のOBOGと現役生(学部生も含む)30名、教職員10名が参加し、活発な質疑応答もありました。3部は会場を移して、約60名が参加して交流会を行いました。OBOGの皆さんから現在のお仕事やご活躍の様子を伺うことができ、これから現場に出る現役生に大きな刺激を与えていただきました。

心理学研究科長 茂呂 雄二



東京成徳短期大学 幼児教育科

東京成徳短期大学 開学60周年記念講演会が開催されました

11月26日(水)の学園創立記念日に、本学櫓の木ホールで木内秀樹学長のあいさつ、同窓会「桐花会」遠藤洋子会長の祝辞に続き、記念講演が行われました。講師には、1988年ソウルオリンピック水泳金メダリストであり、現在は順天堂大学特任教授・参議院議員として活躍されている鈴木大地先生をお迎えしました。「スポーツから学んだ人生のたからもの」と題した講演では、鈴木先生ご自身が選手や指導者として経験してこられたこと、その中で得た学びや考え方、そして社会におけるスポーツの可能性などについてお話いただきました。講演は参加学生にとっても、今後の生活や子どもの育ちに関わる際の視点を結び付けながら考えることのできる身近なものであり、皆真剣に聞き入っていました。

幼児教育科主任 馬場 康宏



東京成徳大学中学・高等学校 中高一貫部

中学1年 戸隠校外学習



2025年8月21日(木)からの2泊3日と、23日(土)からの2泊3日の2グループに分かれて、中学1年生は戸隠校外学習へ出かけました。幸い天候にも恵まれ、自然の中でさまざまな体験をすることができました。今回のテーマは「和を育む」。バーベキューでは、火起こしから互いに声を掛け合い、協力する姿が多く見られました。散策では、疲れて力尽きそうな仲間に励ましの言葉を掛けたり、うちわであおいだりと、思いやりの心が自然に表れていました。仲間と助け合い、喜びを分かち合う中で深まった絆が、今後の学校生活に生かされていくことを期待しています。

第1学年主任 和田 幸久

東京成徳大学高等学校 高等部

海外短期研修

昨年度から、オーストラリアの現地高校に通学しながら英語を学ぶ研修と、世界各地の語学学校に通学しながら他国の留学生と英語を学ぶ研修を用意し、今年度も多くの生徒が参加しました。慣れない環境でも自分の言葉で伝えようと積極的にコミュニケーションを取り、主体的に学ぶ姿を見ることができました。異文化に触れることで視野も広がり、他者を尊重する姿勢も育っていたと感じました。帰国後の生徒に話を聞くと、「もっと英語を学びたい」という声が多く、春から3か月留学に行く生徒もいます。日本ではできない経験が生徒の成長につながることを強く実感しました。

国際交流部課長 越山 恵梨菜



東京成徳大学深谷中学・高等学校 中高一貫コース

中学生と深谷市長の対話会

2025年10月21日(火)、本校生徒と深谷市の小島市長の対話会が行われました。生徒たちからは、「お札サミットについて」「深谷市地域通貨ネギーについて」「深谷市の国際交流について」「ふっかちゃんについて」「市長の仕事について」の5つの質問があり、市長はどの質問に対しても具体的な例をあげ、丁寧に答えてくださいました。生徒は市長からのお話の中で「ふっかちゃんの誕生秘話」と「市長の仕事に対する考え方」が特に印象に残った様子でした。市長と直接やりとりのできる対話会は、生徒にとって大変貴重な経験となりました。

中学校教頭 横山 和彦



東京成徳大学深谷高等学校

部活動リーダー研修会



今年度、部活動の活性化を目指し、運動部の部長・副部長を対象にした「リーダー研修会」を開催しています。この研修会では大学の先生を講師に招き、リーダーシップに必要な能力やリーダーシップの発揮の仕方等を指導していただいています。経営学的な視点からのアドバイスをいただくとともに、目標に対してPDCAサイクルの考え方も学ぶことができました。生徒からは「自分なりのリーダー像を持ち、メンバー間のコミュニケーションを大切にしたい」との感想がありました。今後は、学校を1つのチームとして捉え、互いに連携しながら部活動を活性化し、学校の一層の充実を目指していきたいと考えています。

将来構想委員(3年担任・教諭) 瀧田 良介

成徳幼稚園

秋の運動会

10月19日(日)、運動会が秋晴れのもと実施されました。当日は昼近くに天候が崩れ、最後のプログラムでは少し雨に降られましたが、予定されたプログラムを全て行うことができました。子どもたちは高等部の広い人工芝のグラウンドで元気いっぱい走り回りました。特に年長組のクラス対抗全員リレーやパラバルーン、パイレーツ・オブ・カリビ안의踊りを全員で力を合わせて演技し、はじけるような笑顔がとても印象的でした。また、大勢のご家族の皆さまにお越しいただき、にぎやかで楽しい秋の運動会となりました。皆さまにはお子さまの成長を感じていただけたことと思います。

教頭 梶山 久美子



公共施設と、障がい者劇団の運営。
2つの活動から福祉と芸術をつなぎ、
地域の文化振興に貢献したい。

東京都北区ジェイトエル 統括責任者代理
北とびあ演劇祭 実行委員長

菅野 勇作さん
KANNO YUUSAKU

東京成徳大学 子ども学部 2010年3月卒業

在学中にボランティアサークルで障がい者の芸術活動に携わり、福祉への関心を深める。卒業後はさいたま市社会福祉事業団に勤務し、13年間福祉職に従事。現在は北区十条駅前の複合文化施設「ジェイトエル」に統括責任者代理として勤務する傍ら、知的障がいのある方とその家族を中心とした劇団「はなまる」の運営を行う。自身も劇団の俳優として活動し、北区の芸術祭「北とびあ演劇祭」の実行委員長も務める。東京成徳大学子ども学部同窓会会長。

ボランティア活動を通じて、 教育や支援に関わる道を志す

中学生の頃から、定期的に小学生向けのボランティア活動に参加していました。学校の先生や地域の方々に評価してもらえたことがうれしくて、「自分も子どもの良さに気付ける大人になりたい」と子ども支援に携わる道を志望。東京成徳大学に入学し、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭など幅広く自分の将来の可能性を追求するべく、幼児教育の分野の学びをスタートしました。

入学後は初めてのピアノの授業に苦戦したり、保育園や幼稚園の実習では自分の力不足を痛感したり(笑)。その代わりというわけではないですが、授業や実習以外にも学園祭や謝恩会といったイベント運営に力を入れ、企画立案や当日の舞台裏を担うことに夢中になっていました。イベントが終わると、達成感や感動などいろいろな感情が混ざり合ってよく泣いていたことを覚えています。

人生の転機はやはりボランティア活動で、大学の友人の誘いでボランティアサークルに入り、そこで障がいのある方

が舞台に立ち、ダンスや演技をする姿を見て衝撃を受けました。表現活動に、障がいの有無は関係ない——。この時も涙が止まらなくなりました。あの瞬間に感じた想いが、今の私の活動の原点になっています。

福祉施設勤務を経て、北区の新しい公共施設へ

在学中は教員採用試験では結果を出せず、卒業後にアルバイトをしていた児童館のつながりから社会福祉法人への就職が叶い、障がい者の介護施設や就労支援施設で経験を積みました。同時に、ボランティアを通じて出会った障がい者劇団「はなまる」の運営活動も両立していました。2024年には東京都北区で26年間続く「北とびあ演劇祭」の実行委員長を務めるなど芸術活動への関わりを深め、さらに地域とつながり、その輪を広げていきたいという思いが強くなっていきました。

そうしたビジョンを具現化すべく、2024年にオープンした北区十条の複合文化施設「ジェイトエル」に転職。ICT・企画担当として館内のネットワーク管理やイベントの企画



学生時代に出会った表現活動を転機に、現在も劇団「はなまる」の運営や「北とびあ演劇祭」の実行委員長として活動をしている菅野さん。写真は劇団「はなまる」公演『我ら、はなまる応援団』より、学長秘書役としての出演シーン。(北とびあ演劇祭2025エントリー作品)

『北とびあ演劇祭』の
詳細はこちら →



2024年の北区ビジネスプランコンテストで障がい者の表現活動をビジネスとして展開するプランを発表し、見事ファイナリスト賞を受賞。

運営、広報活動を担当しています。利用者はお子さんから年配の方まで幅広く、地域の方々との日々のコミュニケーションも楽しいひと時ですね。十条は、私が東京成徳大学時代を過ごした思い出の街。慣れ親しんだこの地域で新しい挑戦ができていくことに、やりがいを感じています。

地域の大学や行政と連携し、福祉と芸術の融合を目指す

今後の目標は、障がいのある方々が芸術表現などを通じて活動の場を広げられるようにすること。私の携わる劇団の舞台では、団員がセリフを忘れてしまったり、練習とは異なる動きをしたり…といったハプニングも日常茶飯事です。ですが、お客さまはこういった予想外の展開も含めて、温かく見守りながら楽しんでくださっています。これが正しい、こうしなければ、という枠に捉われず、感情の赴くまま、ありのままの表現をすること。そういった芸術の魅力をもっと多くの人に届けていきたいと思っています。

また、ジェイトエルでの仕事を通じて北区の行政関係者

東京成徳学園で学ぶ皆さんへメッセージ

私が入学した当時から比べると学部や学科が増え、多方面で活躍する学生の皆さんが、活気ある大学の雰囲気を作ってくれていると感じます。同じ北区で公共施設の運営を担う立場から見ても、東京成徳大学の存在が地域を活性化させてくれていると誇らしく思っています。ぜひ私の働いている「ジェイトエル」を活用いただいたり、一緒に地域を盛り上げていく取り組みができればうれしいです。

また、私のように教育や保育を志望して大学へ入学しても、最終的には福祉と芸術をつなぐ仕事をしていたり、人生は何が起こるかわかりません。“この学部に入ったからこの仕事に就かなければいけない”と考えすぎることなく、さまざまな出会いや発見を通じて、自分らしい夢を見つけていってください。

『あそびごころ』

企画を考える時や舞台上立つ時、意識しているのは“遊び心”です。100%の完璧なものを生み出すよりも、ちょっとした余白を残して、関わる人やお客さま、そして自分自身も楽しめるような、“遊び心”をプラスする。そうすれば、100%以上のものが生み出せると思っています。



や創業支援をされている方など、地域をより良くしようと取り組む方々とのつながりが広がりました。北区は福祉や芸術に力を入れており、実際に劇場も数多くあります。東京成徳大学にも500名を収容できる楷の木ホールがありますよね。もし実現できるなら、大学と連携して、学生や卒業生のネットワークを生かした企画を展開したいです。母校と地域を結ぶ架け橋になれば、これほどうれしいことはないですね。仕事も芸術活動も、夢は広がるばかりです！



Check!

「ジェイトエル」は図書や自習スペースを中心に、音楽や映画鑑賞、ワークショップ、会議などさまざまな用途に活用できるホールや、音楽・動画編集室、刺繍やミシン、3Dプリンターが使えるクリエイティブルームなど、あらゆる創作活動を可能にした北区の公共施設。館内のギャラリーではさまざまな展示が行われ、撮影時は菅野さんが障がい者アートとデフリンピックに関する展示を企画。

施設詳細はこちら →



CLUB ACTIVITIES REPORT

クラブ活動報告 2025年4月～(大学:11月まで/中高:9月まで)

全国 全国大会進出 関東 関東大会進出

● 東京成徳大学

男子バスケットボール部 BASKETBALL

第101回関東大学バスケットボールリーグ戦 3部リーグ-5位(15勝7敗)



大学男子バスケットボール部

バトントワリング部 BATON TWIRLING

第38回関東バトントワリングコンテスト 学校団体選手権
トゥーバトン(高等学校の部)-1位(高2)
ダnstワール(高等学校の部)-1位(高1)

第45回バトントワリング東京都大会
コンテストの部 学校部門 高等学校 金賞 関東

第60回記念バトントワリング関東大会
学校部門 高等学校 金賞 全国

女子ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

第27回関東女子中高生ラクロスリーグ戦(Teen's Cup 2025) 準優勝

弓道部 KYUDO

令和7年度 東京都個人選手権大会 女子:10位(高2) 関東

第44回関東高等学校弓道個人選手権大会 女子:出場

演劇部 THEATRICALS

令和7年度 城東地区朗読劇コンクール 最優秀賞(2年連続)

令和7年度 城東地区新人デビューフェスティバル 最優秀賞
(生徒審査賞3位)

令和7年度 第12回短編都大会 優秀賞(2位)

● 東京成徳大学高等学校 (都ベスト16以上)

男子バスケットボール部 BASKETBALL

令和7年度 東京都高等学校総合体育大会 ベスト16

女子バスケットボール部 BASKETBALL

令和7年度 東京都高等学校女子バスケットボール春季大会 3位 関東

令和7年度 関東高等学校女子バスケットボール大会 出場

令和7年度 東京都高等学校総合体育大会 準優勝 全国

令和7年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ2025) 出場

女子バレーボール部 VOLLEYBALL

令和7年度 東京都高等学校春季大会 13位

令和7年度 東京都高等学校総合体育大会 13位

第73回東京都私立中学高等学校男女バレーボール大会 ベスト16

バドミントン部 BADMINTON

令和7年度 東京都高等学校総合体育大会 東ブロック 男子団体-ベスト8

陸上競技部 TRACK AND FIELD

第78回東京都高等学校陸上競技対校選手権大会
男子:やり投げ-6位(高3) 関東
女子:5000m競歩-3位(高3) 関東
やり投げ-4位(高3) 関東
ハンマー投げ-8位(高3)

水泳部 SWIMMING

令和7年度 東京都高等学校選手権水泳競技大会
女子:100m背泳ぎ-8位(高1) 関東

令和7年度 関東高等学校選手権水泳競技大会
女子:100m背泳ぎ-出場(高1)

令和7年度 東京都高等学校新人水泳競技大会
男子:50m背泳ぎ-3位(高2)
100mバタフライ-4位(高1)
4x50mメドレーリレー-5位(高1-1名、高2-3名)
女子:100m背泳ぎ-6位(高1)

● 東京成徳大学深谷高等学校 (県ベスト16以上)

サッカー部 SOCCER

第68回関東高等学校サッカー大会 埼玉県予選会 優勝 関東

第68回関東高等学校サッカー大会 Aグループ 3位

令和7年度 学校総合体育大会 埼玉県予選 3位

卓球部 TABLE TENNIS

第75回関東高等学校卓球大会 埼玉県予選会 男子学校対抗-4位 関東

第75回関東高等学校卓球大会 出場

チアダンス部 CHEER DANCE

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2025
SONG/POM部門 Small編成-17位

写真部 PHOTOGRAPH

第44回埼玉県高等学校写真連盟写真展 優秀賞(高2-1名)
優良賞(高3-2名)

● 東京成徳大学中学校 (都ベスト16以上)

女子バスケットボール部 BASKETBALL

令和7年度 東京都U-15バスケットボール選手権大会 ベスト8

女子ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

(東京成徳大学高等学校の女子ラクロス部参照)

Student's Voice

今を輝く、東京成徳の学生たちの声をお届けします。

内定先

H.I.S.ホテルホールディングス株式会社



東京成徳大学
国際学部 国際学科 4年 小泉 歩さん

留学で培った学びと経験を 未来のホテルづくりに生かしたい

1年間の韓国留学を通して、母国語以外で想いを伝える難しさや、異文化を理解する姿勢の大切さを学びました。この経験を将来に生かしたいと考えた時、真っ先に浮かんだのがホスピタリティ業界でした。

内定先は日本全国や海外で地域に根ざしたホテルづくりを行う企業です。この会社で初めての「ベットと安心して宿泊できる施設をつくる」という夢を目指して、まずはホテルマンとしての基礎を徹底的に学んで、実力をつけていきたいです。



留学中に、語学堂の行事で韓国のロッテワールドへ！クラスのみんなどの思い出ができました。

内定先

さいたま市消防局



東京成徳大学
経営学部 経営学科 4年 牧野 雅也さん

積み重ねた努力を原動力に 救助の世界の最前線を目指す

将来は自分の長所を生かせる職業に就きたいと思い、幼い頃からあこがれていた消防士を志望しました。在学中は毎日の学業と並行して、アルバイトやスポーツにも全力で取り組み、消防士として現場で活躍していくための体力づくりに励んできました。

今後の目標は、消防局の中でも選ばれた部隊である「特別高度救助隊」の一員になること。将来的には隊長として、チームの仲間たちを牽引し、地域の安全を支える存在になりたいと考えています。



社会人サッカーチームのメンバーと。卒業後もこのチームでサッカーを続けていきたいです！

内定先

株式会社大創産業



東京成徳大学 応用心理学部
健康・スポーツ心理学科 4年 後藤 彩華さん

身近な価値を世界に届ける企業で 成長していきたい

交換留学生との交流をきっかけに海外への関心が高まり、在学中にさまざまな国を訪れました。特にアメリカで「DAISO」の看板を見たことが印象に残っていて、普段から愛用する身近な企業が世界で活躍していることに魅力を感じて、大創産業を志望する大きなきっかけになりました。

就活中はキャリア支援課の皆さんのサポートのおかげで、落ち着いて選考に臨むことができました。無事に内定をいただくことができ、感謝の気持ちでいっぱいです。



昔から聴いてきた曲を集めた特別なプレイリスト。面接前はこれを聴いて、気持ちを高めていました。

Pick up!



東京成徳大学
経営学部 経営学科 3年 狩野 朱香さん

学生広報委員会 (委員長)

学生広報スタッフとして

自分の言葉とアイデアで、大学の魅力を発信していく

私は大学公式Instagramを運営する学生広報スタッフとして活動しています。投稿の企画から撮影・編集まで幅広く挑戦し、最初はなかなか反応が伸びず悔しいこともありましたが、メンバーとアイデアを出し合い工夫を続けることで、少しずつフォロワーの反応が増え、自分たちの発信が誰かの役に立っていると実感できました。

この活動を通して、情報を伝えるだけでなく「共感してもらうこと」の大切さを学びました。今後も、自分の言葉やアイデアで人や社会に良い影響を与えられるよう挑戦を続けていきたいです。

Student Group Activities



2025年の桐友祭にて、委員会のメンバーと！大きなイベントでの広報活動は特に思い出深いです。



東京成徳短期大学 開学60周年記念講演会を開催 講師に鈴木大地氏をお迎えしました

2026年に開学60周年を迎えた東京成徳短期大学が、開学60周年の記念講演会を学園創立記念日にあたる11月26日(水)に開催しました。講師には、ソウルオリンピック金メダリスト、初代スポーツ庁長官で、日本水泳連盟会長の鈴木大地氏をお迎えしました。「スポーツから学んだ人生のたからもの」と題した講演は、非常に興味深く、参加した短期大学生や教職員、一般来場の皆さまとともに大変有意義な時間を過ごしました。

※この様子は短大TOPICS(15ページ)でもご紹介しています。合わせてご覧ください。



※写真はイメージです。
(写真提供:ネブラスカ大学カーニー校)

東京成徳大学高等学校および東京成徳大学深谷高等学校と アメリカのネブラスカ大学カーニー校がMOUを締結しました

2025年9月に中高一貫部で開催した米国大使館主催の大学フェアからの縁で、ネブラスカ大学カーニー校とのMOU締結に向けた調整を進め、12月の学園理事会で承認、このたび締結となりました。ネブラスカ大学カーニー校では、奨学金が大変充実しており、学費も非常に安く設定されています。諸経費、保険、寮費は別にかかりますが、諸々30,000ドルほどで済む見込みです。さらに大学1年生から研究費の支給があり、研究に没頭できる大学生活が魅力的です。これを機に、海外大学を視野に入れた進路サポートもより一層努めてまいります。

東京成徳大学深谷高等学校が群馬医療福祉大学と 高大連携教育事業に関する協定を締結しました

両校の相互交流を通じ、高校生の視野を広げ、学習意欲の向上を図るとともに、高等学校教育の活性化と大学教育の理解を深めることを目的に、2025年9月19日に包括連携協定を締結しました。これにより、群馬医療福祉大学の施設・設備等の見学や使用、模擬授業実施、講義受講による単位認定、教育および研究活動についての相互の教員間の情報交換や交流等の教育機能の連携が期待されます。



詳しくは、記載のURLをご覧ください。
<https://www.tsu.ac.jp/news/20250912/>

東京成徳大学が全面協力、HIS×東京成徳大学「#旅するキャンパス」 コラボWEB CMが公開されました

東京成徳大学が撮影地提供から学生100名の出演まで全面協力した、株式会社エイチ・アイ・エスの学生旅行「HISの青春旅」プロモーションWEB CMが公開されました。「『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成」を目指す東京成徳大学が、海外旅行をテーマに展開する今回の企画に賛同し、2026年の学園創立100周年を前に、周年記念となるチャレンジングな取り組みとして実現したものです。CMはエイチ・アイ・エスのYouTubeチャンネルで公開中です。

学園人事 2025年(令和7年)5月~10月

採用	堀内 貴子	東京成徳大学	国際学部国際学科特任准教授
	内部 雅輝	東京成徳大学・東京成徳短期大学	事務局総務課員
	COOK JACOB CHANDLER	東京成徳大学中学・高等学校	JET・ALT
	鰐川 裕介	東京成徳大学中学・高等学校	事務部
	高澤 悠	東京成徳大学中学・高等学校	事務部
	原田 玲香	東京成徳大学中学・高等学校	事務部
	大越 正彦	東京成徳大学深谷中学・高等学校	事務部
	城 善彦	東京成徳大学深谷中学・高等学校	労務職員

退職	黒崎 里美	東京成徳大学中学・高等学校	事務部主任
	平田 倫菜	東京成徳大学中学・高等学校	事務部
	高橋 裕一	東京成徳大学深谷中学・高等学校	労務職員
	藤井 美紗子	成徳幼稚園	教諭

表紙について

今号の表紙の中央にある航空写真は、1960(昭和35)年頃に撮影された現在の東京成徳大学中学・高校(中高一貫部)と成徳幼稚園上空の航空写真



です。この中高一貫部のある場所が、東京成徳学園発祥の地です。写真下の道路が王子神谷駅から続く庚申通りで、幼稚園を写真右下に見ることができます。中高校地は現在より敷地が小さく、正門は西側道路(写真左の道路)に面する校地の南西角に位置しています。現在では、中高校舎・幼稚園舎ともに全てが建て替えられ、この写真とはまったく異なる風景となりました。

先生に聞く。

— 東京成徳の研究紹介 —

file.05

東京成徳学園の先生は、日々専門の研究に取り組んでいます。先生方に研究テーマと研究への思いを、お話しいただきました。

大学・短期大学HPにも各教員の紹介を掲載しています。
下記のQRからぜひご覧ください。



学生の皆さんには、何事も変化を恐れず、自分の可能性を信じて前へ踏み出してほしいと思います。大学時代に“心の羅針盤”を育て、生き方・働き方を自ら選び取る力を身に付けてください。失敗を恐れず挑戦し、その経験を自分なりに意味づけて学びに変える力が、これからの長い人生を支える“生きる力”になります。

変化の時代を生き抜く ライフキャリア研究



紹介は
こちら

稲垣 久美子先生 INAGAKI Kumiko

東京成徳大学 国際学部 国際学科 特任教授

就職支援センター長

変化の激しい現代社会では、誰もが予期せぬ転機に巻き合いながら生きています。私は、生涯発達の視点から、経験を通して人が自己を再構築し、キャリアを発達させていくプロセスを探る「ライフキャリア研究」に取り組んでいます。この研究を教育現場にも広げ、キャリア教育の実践と教育実践研究を進めています。近年は、人生100年時代におけるウェルビーイングとキャリア形成の関係にも関心を広げ、全員留学制度を持つ国際学部では、学生の留学経験が資質・能力の向上や将来のキャリア形成にどのようにつながるのかについて、研究の幅を広げています。

また、人事の現場で人材開発・組織開発に携わってきた企業経験を生かし、全学の就職支援を統括する就職支援センター長も務めています。



『国際学部研究紀要』第1～3号に、留学に関する調査研究の論文を掲載



2025年3月、武蔵野大学で開催されたウェルビーイング学会にて、人生100年時代のキャリア形成をテーマに発表



卒業生をつなぐオンラインコミュニティ 東京成徳 NETWORK を開設しました

2026年の学園創立100周年記念事業の一環として、大学・短大・高校の卒業生同士や、卒業生と教職員・在学生をつなぎ、それぞれが交流できる卒業生オンラインコミュニティ『東京成徳 NETWORK (TS-network)』を開設しました。

『オール東京成徳』としての連携と絆をさらに深め、東京成徳学園のプレゼンス強化と教育内容の充実に取り組むためにも、多くの卒業生からのご参加をお待ちしています。

詳細は
こちら

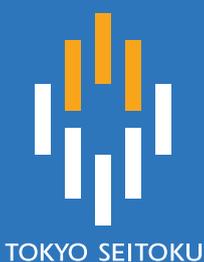


未来へつなぐメモリアルフォトアート メッセージと写真を募集中!

学園創立100周年を記念して、在学生や卒業生、保護者の方、学校関係者の皆さまからのメッセージと写真を募集しています。お寄せいただいたメッセージ・写真は100周年特設サイトで公開され、写真はフォトモザイクアートとして100周年を記念するさまざまな媒体で展開予定です。

東京成徳での思い出や感謝の気持ちなどのメッセージを添えて特別な1枚を投稿して、思い出深い瞬間を共有しましょう!

詳細は
こちら

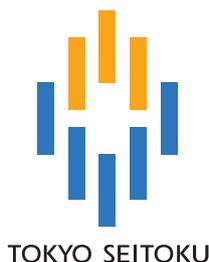


私たちは約束します。

ブランド・ステートメント

多様性の中で共生し、
新たな自分を発見するとともに、
自らの信念をもって
未来をデザインする人材を育成します。

グローバル化が加速する現代社会では、人種や国籍、宗教、性別、価値観などの多様性を受け入れ、必要な助け合いをしながら生きていく共生を、学問や経験を通して学ぶことが大切です。この学びや経験を通じて、これまでの殻を打ち破る新しい自分の使命や役割を探り当て、確固たる自分自身の信念のもと、自分の未来、自分たちの社会の未来を描き、切り拓いていく人材を、東京成徳では育成します。



TOKYO SEITOKU

学校法人 東京成徳学園

www.tokyoseitoku.ac.jp



学校法人東京成徳学園は
2026年に創立100周年を迎えました

- 東京成徳大学
- 東京成徳大学大学院
- 東京成徳短期大学

東京キャンパス(十条) 東京都北区十条台1-7-13

TEL 03-3908-4530 URL www.tsu.ac.jp

- 東京成徳大学中学・高等学校

中高一貫部 東京都北区豊島8-26-9

TEL 03-3911-2786 URL www.tokyoseitoku.jp/js/

高等部 東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3911-5196 URL www.tokyoseitoku.jp/hs/

- 東京成徳大学深谷中学・高等学校

埼玉県深谷市宿根559

TEL (中学)048-573-1784 URL (中学)www.tsfj.jp/top

(高校)048-571-1303 (高校)www.tsfh.jp

- 成徳幼稚園

東京都北区豊島8-24-2

TEL 03-3911-6337 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind/

- 東京成徳スイミングスクール

東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3914-2383 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/swimming/

東京成徳学園後援会のご案内

東京成徳学園の使命達成のため、オール東京成徳で尽力しようと幼稚園から大学院まで学園全体の後援組織として、ご賛同いただく会員を募り組織した後援会です。趣旨をご理解いただき、ぜひご参加ください。

東京成徳学園後援会 目的および事業

(東京成徳学園後援会会則より)

本会は会員相互の親睦を図り、併せて学園の発展に寄与することを目的とし、次の事業を立案実施する。

1. 学園行事への参加協力。
2. 在学生の研究活動、部活動の助成。
3. 卒業生進路への協力。
4. 会員の親睦会、研修会の開催。

入会に関するお問い合わせ

TEL 03-3911-5196 担当 大橋、遠藤(事務)

読者アンケートのお願い

「TOKYO SEITOKU NOW」をご覧いただき、誠にありがとうございます。今後の発行に向け、よりよい紙面作りをするために、皆さまの感想をぜひお聞かせください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

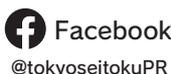
※お寄せいただいた個人情報は、今後の広報誌作成の参考に利用するものであり、それ以外の目的で使用するものではありません。



QRからご回答いただけます。



@tokyoseitokuPR



@tokyoseitokuPR



@tokyoseitokupr

